

島中だより

教育目標
学ぶ意欲にとみ
心豊かで たくましい生徒

八戸市立島守中学校
TEL 83-2011
文責 校長 竹花 和人

一学期を振り返り、失敗を改善しよう

校長 竹花 和人

※7月4日(火)の全校朝会講話より

先週の29日、30日の2日間、1学期期末テストが行われました。そろそろ結果が返却されたと思いますが、思っていたような結果でしたか。それとも、思っていたよりよくない結果でしたか。あるいは、思っていたよりもいい結果だった人はいますか。この定期テストは、生徒の皆さんにとっては、ある期間に学習した内容が理解できたか、身に付いたかどうかを確認するという意味があります。そのため多くの学校では6月下旬に定期テストを実施し、その結果をもとに、7月には1学期の自分の学習状況を確認、不十分などころがあれば、それを改善・補充していくという取組をしています。

そこで、今日は「過ちて改めざる、これを過ちという」という言葉を紹介します。これは孔子の言葉です。2・3年生は孔子のことを知っていますね。1年生はこれから社会科の授業で学習しますので、簡単に説明すると、孔子は今から2500年以上前の中国で理想とする政治のあり方や人の生き方についての考え方を伝えた人で、その弟子たちがまとめた論語という書物をもとに儒教という思想となって現在まで伝えられています。

この孔子の述べた言葉の一つが「過ちて改めざる、これを過ちという」です。この言葉の意味は、「人は誰でも失敗するものだが、失敗したことを直そうとせずにそのままの状態にしておくことが本当の失敗であり、間違いである」ということです。4月7日からスタートした1学期に、皆さんは勉強や学校行事など様々なことを経験してきました。その中では、思ったようにできずに失敗だと思ったこともあるでしょう。先ほども話したように、6月29日30日に行われた1学期期末テストで自分なりに努力してテストを受けたはずですが、実際にテスト問題を解こうとしたときに分からない問題があったり、分かっているつもりで解いたけれど間違ったりした問題があると思います。孔子によると、そのような問題をそのままにしておくことが「過ち」であり、テストで失敗した問題は次に同じ失敗をしないように努力することが大切だということを教えてくれていると思います。

残り少ない1学期ですが、ここで4月からの自分の生活を振り返ってみることが必要です。そして、もし自分が失敗したと思っていることがあれば、次に同じ失敗をしないように改善することが大切です。7月は短いため、すべて改善するのは無理でしょうから、ぜひ夏休みを利用して、少しでも自分の生活を改善してみてください。

過ちて改めざる、これを過ちという



田代中の取組を受け継いでいく

今年4月から島守中と田代中が統合し、新しい島守中がスタートしました。田代中の教育活動で島守中に残せるものはないかと先生方で話し合い、道路わきにひまわりを植えて飾り付ける「ひまわりロード」の取組を受け継いでいくこととしました。

そこで、7月3日(月)の放課後、田代中からもらった種で育てたひまわりの苗を校舎前に植える予定でしたが、あいにくの雨のため、校長よりこの取組のねらいについて説明し、4日(火)の朝や昼休みに苗を植えました。

夏休みには、ひまわりの花が生徒や来校者を迎えてくれることでしょう。



「島守の歴史講座」を開催しました

島守地区自治会連合会では、「島守弁ミニ辞典の作成と活用」事業に取り組んでいます。この事業に関連した取組として、「ふるさと島守への誇りと愛着を育む」ことをねらいに7月6日(木)に「島守の歴史講座」を開催しました。講師は元島守駐在所所長の元沢弘志さんで、南郷歴史民俗資料館から縄文土器を借用して、縄文時代から始まる島守の歴史についてお話ししていただきました。

生徒たちは、元沢さんのお話を真剣に聞き、島守の歴史を学んでいました。



PTA活動が盛んに行われています

生徒数の減少により、PTA会員の人数も減少してきていますが、本校のPTA活動はこれまで同様に盛んに行われています。6月には広報委員会や研修委員会が開催され、夜遅くまで新聞づくりや講演会準備が行われました。また7月2日(日)には環境委員会による校庭の除草作業が行われました。

PTA活動のおかげで、生徒たちが充実した学校生活を過ごすことができていると感じています。保護者の皆様には、心よりお礼申し上げますとともに、今後とも御協力よろしくお願ひします。

受賞の記録

よい歯と口の健康賞

佐々木 颯雅・平脇 日向・松石 蘭・大長根 麻莉・長根 智香・織田零央・江刺家 茉耶

第63回全日本中学校通信陸上競技大会青森大会
女子共通砲丸投げ第8位 大倉愛理

「俳句のまち八戸」学生俳句大会
佳作 江刺家 茉耶